

予備試験答案練習会（刑法Ⅱ）採点基準表

受講者番号

	小計	配点	得点
甲の罪責	(40)		0
現在建造物該当性の検討（現住性の意義、一体性判断の規範定立及びあてはめ）		9	
不作為犯の規範定立		5	
不作為犯の実行行為性についての事実認定		15	
①法的作為義務の存在	9		
②作為の可能性・容易性	3		
③作為義務の内容の具体性	3		
（コメント）			
不作為の実行行為性の要件については、本採点基準通りではない場合にも同様に点数を与える			
「焼損」		3	
因果関係		3	
故意		3	
結論		1	
罪数処理		1	
乙の罪責	(40)		0
1 殺人未遂罪の検討			
実行の着手の検討		8	
因果関係及び結果		2	
故意		4	
中止犯の検討		8	
①「自己の意思により」	4		
②「犯罪を中止」	4		
結論		1	
2 現住建造物放火未遂罪の検討			
現住建造物該当性の指摘		2	
実行の着手の検討		5	
中止犯の検討または予備罪の指摘		5	
結論		1	
3 罪数処理		4	
・殺人の実行の着手時期をいずれの時点にしても、事実を指摘して適切な評価が加えられている場合には同様の点数を与える			
・放火の実行着手を否定して予備罪を検討した場合とこれを肯定して中止犯を検討した場合でも同様の点数を与える			
裁量点	(20)	20	0
合計	(80)	100	0